学校番号	１２０３

令和３年度　芸術科

教科	芸術科	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA１（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽（クラシックギターとキーボード）」の基礎を中心に学習します。
・「歌唱」では独唱を中心に様々な曲に取り組みながら、発声と表現を学習します。「器楽」では、基本的な奏法を身に付けるとともに、読譜の学習も行います。また教材に関連した鑑賞を取り入れます。
・学習の到達度は、授業中の取り組みの様子や授業で配布するワークシート・実技テスト等で評価します。
・歌唱や楽器の演奏に興味を持ち理解を深めることにより、長く音楽を愛好していく心情を持てるようになることを願っています。

２　学習の到達目標

歌唱・器楽演奏の基礎的能力を身につけ、楽曲に対する理解力を深め、生涯音楽を愛好するための土台をつくる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱や器楽・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うか・演奏するかについて表現意図を持っている。	歌唱や器楽において、楽譜に記された技能を身に付け、適切に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを味わって聴いている。
評価方法	出席状況 観察 個別指導	観察 実技テスト	観察 実技テスト	ワークシート 観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	歌唱	校歌 日本の歌 ポピュラーソング イタリア歌曲	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージを持って学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 d：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを味わって聴いている。	観察 個別指導 実技テスト
	読譜リズム	音符・休符、音部記号、拍子記号、タイとスラー、	○				a:基礎的な読譜の理論を理解しようと主体的に学習している。	個別指導 ワークシート
	器楽	【ギター】 基本の奏法 メロディ奏　ちょうちょ キラキラ星 木星 【キーボード】 基本の奏法 メロディ奏　ぶんぶんぶん 切手のないおくりもの	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 個別指導 実技テスト

後期	歌唱	翼をください(2 部) 願い(3 部) ぼくはぼく(3 部)	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージを持って学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 d：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを味わって聴いている。	観察 個別指導 実技テスト
	読譜	反復記号、強弱記号 変化記号	○				a:基礎的な読譜の理論を理解しようと主体的に学習している。	個別指導 ワークシート
	器楽	【ギター】 コード奏　糸 三重奏　第三の男 【キーボード】 オクターブ・指使いの練習 カノン 変化記号　森のくまさん 両手　切手のないおくりもの	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 個別指導 実技テスト

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。